

防災コラム

危機管理課

第14回

家庭での水害への備え

防災情報の収集

近年、台風や大雨による浸水被害が増えています。被害を最小限に抑えるためには、情報収集や浸水対策など、早めの対応が重要です。台風や大雨等の防災情報を集める手段としては、テレビ、ラジオ、電話（177）、インターネットがあります。また、事前に登録をしておく、携帯電話やパソコンに電子メールで防災情報が配信される「茶の都メール」「埼玉県防災情報メール」等もあります。

簡易水のうの活用

浸水対策の手段の一つとして、簡易水のうがあります。簡易水のうとは、家庭にあるゴミ袋等のビニール袋に水を入れて作成する、土のうの代わりとなる物です。

作り方は、ビニール袋を二重にし、半分程度の水を入れ、口の部分

をひもなどで閉めて完成です。それを浸水を防ぎたい出入口に直に並べたり、段ボール箱の中に入れて並べたりして使用します。段ボール箱の中に入れて使用する方法は、強度が増して石などで破れることを防ぐほか、レジ袋等の小さなビニール袋で簡易水のうを作った場合に有効な方法です。他にも、浸水を防ぎたい場所をベニヤ板等で塞ぎ、それを簡易水のうで固定する方法もあります。また、住宅の周辺が浸水すると、下水が逆流し、トイレ・風呂場等の排水口から水が噴き出ることがありますが、排水口に簡易水のうを置くことで、逆流を抑えることができます。



簡易水のうのメリットは、その場で迅速・簡単に作成でき、災害対応後は水を捨ててしまっただけで処分できることです。ただし、簡易水のうは、初期の浸水を防ぐものです。雨量や浸水の状況を見極め、避難するタイミングを失わないようにすることも忘れないでください。これから、集中豪雨や台風など激しい雨が降る季節が続きます。日頃から天気予報や防災情報を確認し、早めの準備を心掛けましょう。